

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人 不動園 のぞみこども園	施設 種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 8 年 2 月 2 0 日

総 評	<p>のぞみこども園は平成23年4月に開園してから14年目をむかえ、保育理念「感動そして共感と信頼」が定着し、園児に寄り添いながら、子どもが主体的に活動できるよう保育がなされています。また、園バスを利用し、園外へ積極的に出かけ、自然豊かな環境での保育を実践しています。併設されている「子ども発達サポートセンター」との連携で、障害児への理解、アプローチが柔軟になされ、多様性に配慮された環境が整っています。</p> <p>また、質の高い保育を提供するために、職員一人一人の目標面談や、自己評価を実施し、キャリアアップ研修、法人によるスキルアップ研修を受講しています。一方で、地域特有の水害対策がねられており、施設内での垂直避難を基盤としながら、地域の方々の避難場所としての役割も担えるよう取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月実施している職員会議とは別に保育内容について「全体会議」を年に数回実施しています。テーマは保育者より提案がありますが、会議の運営には施設長がグループ討議の構成等を編成し、議論しやすい環境を整え、課題把握と改善が進むよう、指導力を発揮しています。 ● 社会福祉法人不動園において、重要な規程、要綱、マニュアルなどが網羅され、適宜、見直しもされており、それを踏まえて園独自のマニュアルも作成されるなど、保育実践に役立てています。保育実践の振り返りについては、年度末に各自で自己評価を行い、自分の保育を振り返り、保育の質の向上や改善を行っており、職員間で共有し、園全体の自己評価につなげています。またホームページで公開もしています。 ● 1～2歳児の保育については、3歳児の保育室に遊びに行ったり、5歳児と一緒に散歩に出かけたり、様々な年齢の子どもとの関わりが持てるような工夫や、周辺の豊かな自然環境の中で遊び、自然への興味関心が深まるよう工夫しています。3歳児以上の保育については、ランチルームやホール、相談室など、一人一人の子どもがくつろいだり落ち着いたりできるスペースがあります。また、園のバスを利用し、積極的に園外に出かけて自然豊かな環境の中で、いも掘り、虫さがしなど、自主的、自発的に好きな季節の遊びを見つけて楽しんでいきます。

特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none">● 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動については、地域の福祉ニーズの把握などに努めています。今後は、民生委員・児童委員等と定期的な情報交換などを行い、具体的な福祉ニーズの把握に努めると、なお良いでしょう。● 子どものプライバシー保護や、子どもの虐待防止等の権利擁護については、「保育業務マニュアル」や、「虐待初期対応ブック」に基づき、園内研修を行い、子どものプライバシーと権利擁護に配慮した保育に取り組んでいます。今後は不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明確化されると、なお良いでしょう。● 長時間保育については、教育・保育要領が示す、長時間保育における保育内容や方法、職員の協力体制等について、現在実践している内容を指導計画に位慣づけされると、なお良いでしょう。
---------------	--

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。